

## 【熊本県納税貯蓄組合連合会会長賞】

### 痛みを勝るありがたさ

熊本市立西原中学校

一年 西浦 睦姫

「チクツ」

私は、夏休みに二種混合の予防接種を受けました。母がインフルエンザの予防接種を受けた時は会計をしていたのに、今回はしていなかったため、いつ会計をするのか気になったので尋ねてみると、

「今回は定期接種だから、支払わなくていいんだよ。」と教えてくれました。

これまでたくさん予防接種を受けましたが、定期接種は公費負担のため、無料で受けることが出来ているそうです。また、予防接種には公費負担と自己負担のものがあるとのことです。

公費の財源は、税金です。税金は、私達が毎日通っている学校や、暮らしを支えてくれている警察署や消防署、日常生活に欠かせない道路や橋の整備に使われていることは知っていました。まさか予防接種にも使われていたとは思いませんでした。

予防接種の公費負担について調べてみると、国と市町村が負担してくれていることが分かりました。

私達が暮らしている日本では、一万円もかかるワクチンでも無償で受けることが出来ています。そのおかげで、病気に対する免疫が作られ、感染症の発症あるいは重症化を予防することが可能となっています。

しかし、貧困や紛争などの問題を抱えた開発途上国では、予防接種が出来ない子供達が大勢います。ワクチンを打たないと、一日四千人、時間にして二十秒に一人の赤ちゃんや子供達が命を落としているという悲しい現実があります。

今、自分達が病気にかかっても症状が重くならず済んでいるのは、当たり前ではなく、「税金」のおかげだということに気づかされました。だからこそ現在、健康な生活を送れていることに感謝すべきだと思います。

そして、「税の歴史」をさかのぼると、三世紀始めに邪馬台国を治めていた女王卑弥呼が、税として食べ物を集めさせていたことから始まり、飛鳥時代の七百一年に完成した大宝律令で、租・庸・調という税や労役をかける税のしくみが出来ました。そこから時代の流れに合わせて変化していき、現在では「納税」が国民の三大義務の一つになっています。

今回、予防接種をきっかけに、改めて税について学んだことで、小学校の社会の授業で学習した内容も、より一層身近なものとして理解が深まりました。

税金とは、「社会の『会費』のようなもの」という説明があり、まさにその通りだと思いました。人々の暮らしを安全、快適で豊かにするために互いに支え合い、より良い社会を作るのに欠かせないものだと思います。そして今、私は消費税しか払っていませんが、収入を得るようになったら正しい納税をして、今までの恩返しをしていきたいです。